

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶん か ざい けん そう ぶつ
指定文化財(建造物)



ば しょ
場所

・倉敷市児島味野



じ だい
時代

・明治時代



し て い ねん が つ び
指定年月日

・平成12(2000)年
4月28日



し ょ う
所有

・ナйкаイ塩業株式会社



けん が く
見学

イベント時のみ内部見られる

のざきけべっていたいかどうかおもやほか

野崎家別邸迺暇堂主屋ほか

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



この建造物について

児島の塩田王・野崎武左衛門の孫、野崎武吉郎は明治23(1890)年から3期16年にわたって貴族院議員をつとめ、中央知名人としばしば交友を深めていました。この頃、味野には児島郡役所があり、人々が多く行き交っていました。中央知名人の迎賓館的施設として、また、往来する人々の接待や宿泊、集会の場として建てられたのが、この建物です。この建築事業には、日清戦争後の失業対策という意味も兼ねられていました。

主屋は百畳敷の大広間を有する大規模で複雑な建築です。なまこ壁の土蔵は宴会用の備品庫を収納した道具蔵で、居宅は屋敷地の維持管理人の住宅です。車寄と車夫詰所は当時の地方の交通事情の一端を伺い知る貴重な建物です。

敷地内にある2つの茶室は、野崎武吉郎の還暦記念に建てられたもので、外葭葺きで田舎屋風に仕立てられています。